

名 誉 会 員 齊 藤 有 君 を 偲 ぶ

和 田 弘†

本学会の初代監事をつとめられた齊藤有君が去る3月9日逝去された。ここに謹んで哀悼の意を表し、その御業績を偲びたいと思います。

齊藤有君は陸軍砲工学校を恩賜で卒業され、員外学生として東京帝国大学理学部物理学科を昭和9年卒業された。それ以降、陸軍の技術の中樞を歩かれ、最後はレーダの製作を担当しておられた。戦後は(財)電波技術協会の理事もお仕事のひとつとしておられた。

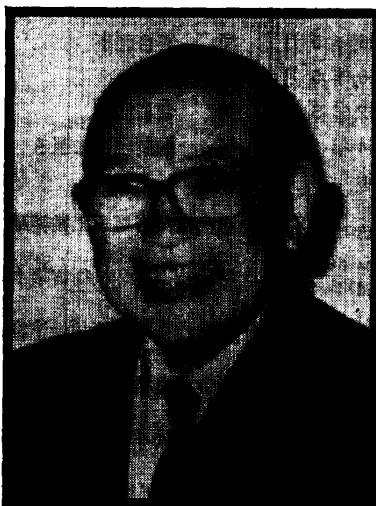
昭和29年、工業技術院にゲルマニウム委員会が設けられた際、その幹事をされてお目にかかって以来、御交誼をお願いして来た。

昭和32年、電子工業振興臨時措置法が公布されて、その推進のために日本電子工業振興協会が設立された時、推されてその専務理事の要職につかれた。以来同協会の事務所が、田村町、西久保巴町、虎の門を経て現在の機械振興会館へと移され、昭和50年顧問になられるまでの輝かしい御業績は別のところに記されることでありましょう。

昭和34年6月ユネスコ主催の“情報処理についての国際会議”

が開催された時、IFIPを組織すること、各国はその窓口となる機関をもつことを申し合わせて、山下先生とともにパリから帰って来た。その組織として電子協ではとの意見もあったが、メーカの団体と学術団体とは別にする方がよからうとの意見が多かったので、複雑になる感もあったけれども、情報処理学会を設立しようということになった。そしてその設立準備作業は有志が当時巴町にあった電子協の中で行った。即ち同協会の計算機部長をしていた高崎勲君を中心に、事務の手伝い、会議室の使用など一切を提供していただいた

た。創立されてからの学会事務所を協会内に置くことを承諾して下さり、さらに専属の職員の第1号として現在の事務局長をしている坂元真澄君を採用してから、大部分の仕事の面倒を見ていただいた。当時赤貧洗うが如き学会の、職員の健康保険ないしは社員旅行にまで配慮して下さった。機械振興会館への移転は同協会に隣接した一部を割いていただく形で、やっと独立した形態がとれるようになった。それは昭和41年秋の頃であった。



その後学会が齊藤さんにどう面倒をみていただいていたか詳かでないが、小生の関係している規格委員会への協力を顧ると、会合には必ず出席されていたし、国際会議への出席の旅費の調達に苦しんでいるのを見ては、協会のポリレーボードを通じてメーカに負担を要請して下さった時期も短くはなかった。

このように考えて来ると、齊藤さんは本学会が自立できるようになるまで、縁の下で力を貸して下さった恩人である。形式的には学会創立時の4年間監事として御尽力下さったことにしかならないが、

実体はもっと長期に亘って御世話になっている。これはひとえに技術を正しく理解され、大切と思われるところを支援しようとする公平な判断力を持たれていたためであろう。そして軍人精神を貫かれた人格は範とするに十分であった。学会の生みの母親としてのご功績は筆舌に尽し難い。

さきに喜寿、金婚の祝いにお招きをうけたが、これが別れの御挨拶であったように思われる。幸い御遺族の方々も立派にしておられるから後顧の憂はおありにならなかったと察しているが、もっと長くお元気でおられればと思うことが時折あって、誠に残念だ。

心からお冥福を祈って筆をおく次第です。

† 日本アルゴリズム(株)、情報処理学会名誉会員

御 略 歴

生年月日	明治 38 年 10 月 28 日生
本 籍 地	東京都大田区久が原 1 丁目 1, 140 番地
現 住 所	東京都大田区久が原 1 丁目 35 番 11 号
学 歴	昭和 9 年 3 月 東京帝国大学理学部物理学科卒業
職 歴	昭和 2 年 10 月 陸軍工兵少尉任官
	10 年 3 月 陸軍科学研究所所員
	14 年 3 月 陸軍省兵器局課員
	18 年 6 月 多摩陸軍技術研究所企画課長
	20 年 3 月 陸軍兵器行政本部総務部課長
	20 年 6 月 任陸軍大佐
	20 年 8 月 陸軍兵器行政本部残務整理
	24 年 4 月 } 東京通商株式会社取締役
	26 年 12 月 }
	27 年 3 月 } (財)電波技術協会常務理事
	34 年 3 月 }
	33 年 3 月 (社)日本電子工業振興協会常務理事
	36 年 5 月 同 専務理事
	50 年 5 月 同 理事
	52 年 5 月 同 常任顧問
	54 年 5 月 同 顧問現在に至る
	60 年 3 月 死去
審議会歴	昭和 33 年 8 月 } 通商産業省電子工業審議会専門委員
	45 年 7 月 }
	34 年 1 月 } 科学技術電子技術審議会専門委員
	44 年 4 月 }
	41 年 6 月 } 工業技術院工業技術協議会臨時委員
	48 年 8 月 }
	42 年 11 月 } 通商産業省産業構造審議会専門委員
	50 年 8 月 }
	44 年 3 月 } 科学技術庁科学技術会議専門委員
	49 年 7 月 }
	44 年 5 月 } 経済企画庁経済審議会臨時委員
	45 年 10 月 }
	44 年 8 月 } 工業技術院日本工業標準調査会委員
	50 年 8 月 }
民間団体歴	昭和 35 年 4 月 } (社)情報処理学会監事
	40 年 5 月 }
	42 年 12 月 } (財)日本情報処理開発センター副会長
	54 年 5 月 }
賞 罰	昭和 5 年 11 月 恩賜刀一振 (陸軍砲工学校成績優秀表彰)
	15 年 4 月 勲四等旭日章
	20 年 8 月 従五位
	41 年 3 月 藍綬褒章受章
	47 年 10 月 通商産業大臣表彰 (情報化促進貢献功勞)
	50 年 11 月 勲三等瑞宝賞受章